

日刊建設産業新聞

発行所
日刊建設産業新聞社

本社
〒173-8710 東京都板橋区板橋1-48-9
電話 03(3961)1691(代表)
ファクス 03(3961)2251
(<http://www.kensan-news.com/>)

支社
大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越
支局
埼玉、中部

© 日刊建設産業新聞社 2017

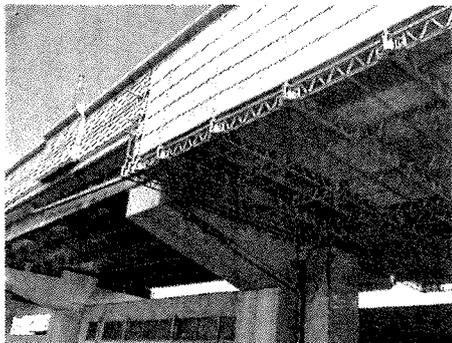
首都高補修工事に初導入

安全で作業効率向上に寄与

日 産 業
日 産 業
クイックデッキ

日産産業(小野大社長)のシステム吊り足場「クイックデッキ」が首都高速道路の補修工事に初採用され、安全で作業効率の高い作業環境の提供に貢献している。

同工事は、首都高1号羽田線のJXTGエネル



「従来工法では出来なかった」と現場の首都高メンテナンス神奈川佐藤恵一所长は話す。水平旋回方式で吊点からの跳ね出しが最大5メ

ギー構内で行われているメンテナンス工事(発注者・首都高、元請・首都高メンテナンス神奈川、1次下請け・日産産業)でコンクリートの剥落防止を行っているもの。周辺は、桁が運河に張り出しているため、地上から工事用足場を組み上げるのは非常に困難な状況で「従来工法では出来なかった」と現場の首都高メンテナンス神奈川佐藤恵一所长は話す。水平旋回方式で吊点からの跳ね出しが最大5メ

ールの先行床施工方式のため空中で作業床を順次広げていくクイックデッキの特徴が最大限活かされた。運河上以外は全て夜間作業で組立てが行われた。

「最大の価値は安全策」を基本理念として首都高メンテナンス神奈川

平方が納入されている。朝顔の一部には新たに開発したパネルシステム「クイックウォール」も採用されている。写真。また、最大吊りチェーンピッチが5m×5m以下の従来吊り足場に比べてスパンが長いことから、広い作業空間が確保できるほか、段差無いたことから同工事ではチェーンの盛り替えが従来工法の約7分の1削減できるといふ。クイックデッキのコストは従来工法より高価だが、工期短縮等の全体コストで評価すると同等程度になる。

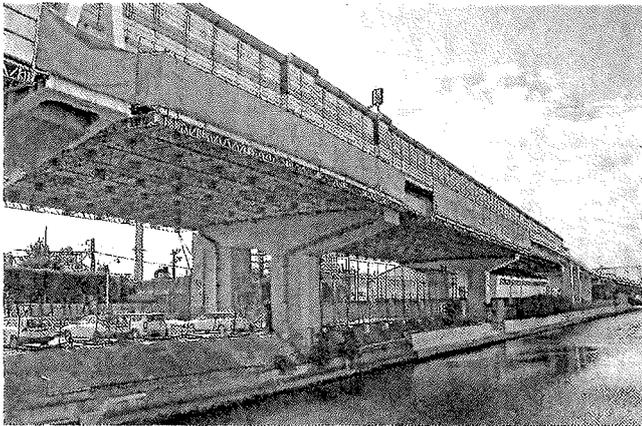
川からも安全性と作業性で高評価を得ている。クイックデッキは、基本構成部材が全てシステム化されており、専用工具を必要とせず人力で組立が可能。トラス構造を採用しているため、高い強度と軽量化を実現している。このほか、多彩なオプションが用意されており、吊元の制約を無くし、作業床の段差解消等を図ることが出来る。国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)にも登録済みで、様々なシーンで適用工事の拡大が期待されている。

日綜産業の新型吊り足場

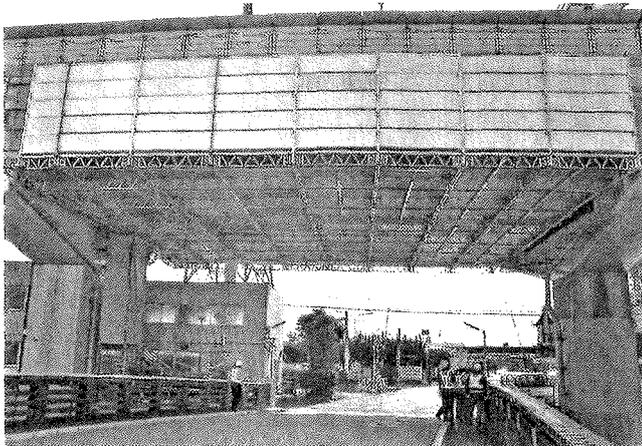
首都高の工事で初採用

軽仮設機材メーカー日綜産業(社長・小野大氏)の先行床施工式フロア型システム吊り足場「クイックデッキ」が、首都高1号横羽線のコンクリート剥落防止工事で採用されている。首都高関連の工事でクイックデッキが採用されるのは、今回が初めて。また、付帯設備であるシステム防護壁クイックデッキ・ウォールも採用されており、現場の安全に一役買っている。

クイックデッキは、ウェイ(SAFWAY)のシステム化などで、5層の跳ね出しで、これまで困難だった場所、04年に米国の仮設機材社が開発した。作業床安全な簡易施工・解体、工期短縮が可能。最大にも設置できる。メーカー最大手セーフの先行設置やユニット



首都高の工事で初めて採用された日綜産業のクイックデッキ



今回初採用のクイックデッキ・ウォール(システム防護壁)

日綜産業では、オリジナル製品の持つ基本構造の優位性はそのままに、一部安全性を考慮して同社従来製品の機能や独自技術を組み込んで日本仕様を改良。14年6月から販売・レンタルを開始した。一昨年5月には、東北地方整備局で新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている。

今回の現場は、横羽線のJXTGエネルギー構内部分で、維持工事元請が首都高メンテナンス神奈川、1次下請が日綜産業、2次下請が大隅建設。工期は昨年12月21日から今年の7月末までとなっている。

吊りチェーンのピッチを飛ばせるメリットを活かして、外路を規制せずに従来の工法では難しかった首都高の下にある運河の上にも施工が容易だった。シート間の継目の少なくなり、現場での作業効率や安全性にも寄与している。

ている。

クイックデッキ・ウォールは、素材にQDアルミデッキを使用。高さ3〜4層までは頭つなぎが不要で、支柱は上部に継ぎ足しができる。今回の現場では下道との交差点所に使用されている。日綜産業では、今後樹脂系パネルの商品化も検討していく。

クイックデッキではこのほか、斜角対応用デッキサポートや専用電動ホイスト、熱収縮・密着型防水養生シート「クイックラップ」など、現場作業者の声を反映した付帯設備をラインアップ。現地ニーズに応じたクイックデッキのシステム提案営業で、採用増を狙っていく。

日刊 建設工業新聞

式場 先行足場 首都高剝落防止に採用 日綜産業 安全対策強化に貢献

日綜産業の先行床施工式フロア型システムのつり足場「クイックデッキ」が、首都高速道路横羽線のコンクリート剝落防止工事に初採用された。写真。クイックデッキが使用されているのは、横浜市神奈川区のJXTGエネルギー横浜製造所構内の現場。工事が行わ

れているすぐ下を人が歩くこともあるため、作業床の間に隙間がなく、物が落下する恐れのない同製品を使用し、安全対策の強化を図



った。
クイックデッキはジョイント(トラス構造の主梁)と連結ノード、デッキパネル、つりチェーンで構成するつり足場の一種。床先行の組み立て方法で、常に足場上で作業を行えるため、

安全性が高い。足場となる床ユニットをシステム化したことで、組み立て時間も短縮できる。

現場担当者の佐藤恵一首都高メンテナンス神奈川メンテナンス事業部担当部長は「今回のコンクリート剝落防止工事は、下を人が通るなど、さまざまな制約があることから安全性に優れたクイックデッキを採用した。つりチェーンのピッチが広いため作業効率の向上に寄与し、工期短縮にもつながる」と話す。

日綜産業は、14年6月に米仮設資材メーカーと業務提携し、手すりや支柱、幅木など独自技術を組み込んだ日本仕様のクイックデッキの販売・レンタルを開始。納入・稼働中の現場が拡大している。15年5月には国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)に登録された。これを機に同社は橋梁点検・補修などの公共工事への普及拡大を図る。

—わが国唯一の橋の専門新聞—

橋梁新聞

SINCE1973

発行所
橋梁新聞社
 郵便振替口座 00150-2-48179
 東京都千代田区神田駿河台3-3
 五明館ビル302
 〒101-0062 電話03(5577)7610(代表)
 FAX03(5577)7611

第1313号
 2017年 4月21日
 (平成29年) 金曜日

昭和51年5月19日第三種郵便物認可
 購読料/年間88,000円・半年46,000円(税別)
 発行日 1・11・21日
 発行兼編集人 澤田繁男
 編集長 根津寿子

www.kyoryoshimbun.co.jp



横羽線でクイックデッキ

日綜初の首都高採用

日綜産業は7日、首都高のクイックデッキ採用で剥落防止シート2500平方メートルを接着するも、0平方メートルを接着するも、吊足場にクイックデッキの見学会を催した。首落防止工事で、水性塗料

用。側面防護の一部にクイックデッキウォールを採用した。施工は元請が首都高メンテナンス神奈川。二次下請が日綜産業。二次下請が大隅機設。首都高メンテナンス神奈川の佐藤恵一現場代理

人は「吊チェーンのピッチが長いこと、床板の段差がなく作業性の良いこと。盛替えとタメ直しが少なくて済むこと、シート継目が少なく、品質が向上することが採用の理由」と話す。運河の上を桁から直交

して張り出すように吊足場の展開でき、PC桁にはビームクランプで吊り下げることで、アンカーによるPC桁への損傷を防いだことも利点だ。工期は平成28年12月、29年7月末。



クイックデッキウォール

同現場では、PC橋下側にコンクリートのはく落を防止するシー

軽仮設大手の日綜産業(本社)東京都中央区、小野大社長)は、横浜市神奈川区のJXTGエネルギー構内の現場「首都高1号横羽線(元請)首都高メンテナンス(神奈川)におけるコンクリートはく

落防止工用吊り足場設置工事、新型システム吊り足場「クイックデッキ」と側面防護材「クイックデッキウォール」を設置している。首都高速道メンテナンス工事の一環で、首都高関連でのクイック

日綜産業

クイックデッキウォール

首都高で全国初採用

クデッキの採用は初。クイックデッキウォールは全国的に初採用となった。現場では、PC橋下側にコンクリートのはく落を防止するシー

トを張り付けるためにクイックデッキを活用。工事箇所真下にテニスコートがあり、すべを運河が流れるなど設置条件に制約がある中、クイックデッキが持つ優れた施工性で安全な足場を短期間で構築。吊り足場の設置や吊元の盛り替え作業、直し作業などを合わせた工期を、従来工法と比較して約3割、1カ月程度短縮できる見通しだ。

現場代理人の佐藤恵一・首都高メンテナンス神奈川メンテナンス事業部担当部長は、「従来足場と比較して吊りチェーンのピッチを大きく取れることが採用した一番の理由。吊元が減らせるため盛り替え作業を従来比で省略でき、工期短縮につながる。防止シートの継ぎ目が減ることで施工品質も向上する」とメリットを語る。作業空間についても、「チェーンが少ないため作業し

やすい。段差がなく安全性にも優れるため、作業者からの評判は上々(同)という。初の実用となったクイックデッキウォールは、アルミ製クイックデッキの床材を転用し側面防護用にシステム化したもの。今後、改良を重ねながら本格的な商品展開を目指す。現場では、クイックデッキ1437平方メートルを含む側面防護材446平方メートルを使用。日綜産業が二次下請けを担っている。このほど報道向け現場見学会を開催した。

建通新聞

東京

発行所 建通新聞社

首都圏本部東京支社

東京都港区新橋4-9-1

新橋プラザビル16階

〒105-0004 電話(03)5425-2070

多摩支局 電話(042)527-7291

<http://www.kentsu.co.jp/>

新聞定価6ヵ月 40,200円(税込)

©建通新聞社 2017

発行紙

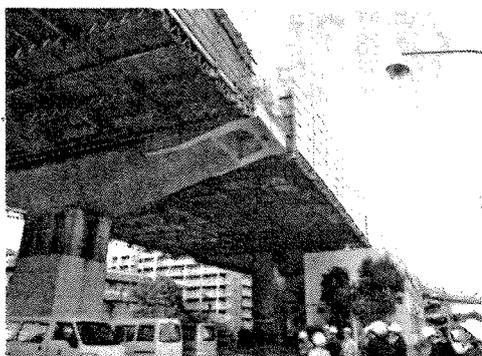
神奈川/静岡/中部/大阪/岡山
香川/徳島/愛媛/高知

クイックデッキを初採用

日産産業
首都高
神奈川1号
横羽線の現場公開

日産産業(中央区)は、先行床施工式フロア型システムつり足場「クイックデッキ」を初採用した首都高速神奈川1号横羽線のコンクリート剥落防止工事現場で見学会を開いた。写真。

現場は、横浜市神奈川区のJXTGエネルギー横浜製造所構内。つりチェーンで設営した1437平方分の主体足場の他、一部にパネルシステムを使った446平方分



施工する首都高メンテナンス神奈川(横浜市鶴見区)の佐藤恵一メンテナンス事業部担当部長は「本来なら危険が伴う高所作業。下を歩く通行人の安全を確保し、作業効率を高め、工期短縮につながる」と話す。

クイックデッキは、システム化した部材を水平旋回し、常に作業床を先行してつり足場を構築。大空間建築物や橋梁、プラントなどに使用されている。熟練した作業を必要としない他、板張り防護機能を備えるため隙間や段差がない安全な作業床の確保が可能という。

製品
工法

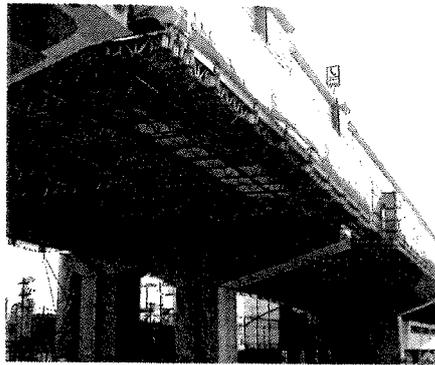
建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2017

首都高横羽線に クイックデッキ

日綜産業

首都高速道路会社が発注し、首都高メンテナンス神奈川が施工している首都高1号横羽線(JXTGエネルギー



構内)のコンクリート剥落防止工事用つり足場(クイックデッキ)設置工事(横浜市)に、日綜産業のクイックデッキが使用され、安全面や工期短縮に効果を発揮している。写真。

工事は、コンクリートのはく落防止を目的に行っており、主体足場1437平方メートルにクイックデッキを採用する

とともに、側面防護446平方メートルを初採用した。火災対策として水性塗料を使用している。工期は7月末まで。

首都高メンテナンス神奈川の佐藤恵一メンテナンス事業部担当部長は「環境面や架設、解体などにメリットがある。安全面でも現場にマッチしている。施工品質の向上にも寄与している」と、メリットを挙げている。

日本工業経済新聞

速報栃木版

発行所 日本工業経済新聞社
宇都宮市築瀬町1958-1
栃木県建設産業会館4階
電話(028)634-0141(代表)
©日本工業経済新聞社2017

日綜産業クイックデッキ



首都高工事でも活躍

首都高1号横羽線・横浜
市神奈川区(JXTG株構
内)では、7月末までの工
期でコンクリート剥落防止
工事が進められている。そ
こで活躍しているのが工事
用吊り足場「クイックデッ
キ」だ。

日綜産業(小野大代表
取締役社長、東京都中央
区)が開発・販売している
先行床施工式フロア型シス
テム吊り足場「クイックデ
ッキ」は、2014年6月

の発表以来好調。国内外を
問わず、数多くの現場で採
用されている。

対象工事は駅舎改築大庇
建築、大型ショッピングモ
ール、航空機組立工場新築
の天井工事、精密機械工場
の天井改修、新幹線高架の

改修工事など多岐にわたっ
ている。

今回の現場は運河にかか
っており、高所作業車では
できない起点から直角方向
への足場設置も可能として
いる。作業性の良さ、安全
性、施工品質の向上はもち
ろろ、工期短縮にも役立っ
ている。また橋下にはアニ
スコートがあり、コート利
用にも影響を与えずに工事
が進められている。

クイックデッキは国土交
通省新技術情報提供システ
ム(NETIS)TH1
50007-Aを取得して
おり、工期短縮、労災防止
など生産性向上に寄与し国
交省のi-Constructionにも則してい
る。

日刊建設タイムズ

日綜産業

首都高工事でも活躍

首都高1号横羽線・横浜市神奈川区(JXTG(株)構内)では、7月末までの工期でコンクリート剥落防止工事が進められている。そこで活躍しているのが工事用つり足場「クイックデッキ」だ。

日綜産業(株) (小野大代表取締役社長、東京都中央区が開発・販売している先行床施工式フロア型システム



首都高1号横羽線でも活躍するクイックデッキ

つり足場「クイックデッキ」

吊足場「クイックデッキ」は、2014年6月の発表以来好調で、国内外を問わず数多くの現場で採用されている。対象工事は駅舎改築大庇建築、大型ショッピングモール、航空機組立工場新築の天井工事、精密機械工場の天井改修、新幹線高架の改修など多岐にわたっている。

今回の現場は運河にかかっており、高所作業車ではできない起点から直角方向への足場設置も可能としている。作業性の良さ、安全性、施工品質の向上はもちろん、工期短縮にも役立つ。また、橋下にはテニスコートがあるが、そちらの利点にも影響を与えずに工事が進められている。

クイックデッキは、国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)TH-150007-Aを取得しており、工期短縮、労災防止など生産性向上に寄与し、国交省のi-Constructionにも即している。



発行所
 日本工業経済新聞社
 新潟支局
 新潟市中央区礎町通一ノ町1945-1
 電話 025(224)3321
 F A X 025(224)5534
 本社 東京都文京区千駄木3-36-11
 電話 03(3822)9211
 U R L www.nikoukei.co.jp
 ©日本工業経済新聞社

日綜産業

首都高工事でも活躍

つり足場「クイックデッキ」

首都高1号横羽線・横浜市神奈川区(JXTTG(株)構内)では、7月末までの工期でコンクリート剥落防止工事が進められている。そこで活躍しているのが工事用つり足場「クイックデッキ」だ。

日綜産業(株)(小野大代表取締役社長、東京都中央区)が開発・販売している先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」は、2014年6月の発表以来好評

調で、国内外を問わず、数多くの現場で採用されている。対象工事は駅舎改築大庇建築、大型ショッピングモール、航空機組立工場新築の天井工事、精密機械工場の天井改修、新幹線高架の改修工事など多岐にわたっている。

今回の現場は運河にかかっており、高所作業車ではできない起点から直角方向への足場設置も可能としている。作業性の良さのほか、安全性、施



首都高1号横羽線でも活躍するクイックデッキ

工品質の向上はもちろん、工期短縮にも役立っている。また橋下にはデニスコートがあるが、そちらの利用にも影響を与えずに工事が進められている。

クイックデッキは、国土交通省新技術情報提供システム(NE TIS)TH I15000 7-Aを取得しており、工期短縮、労災防止など生産性向上に寄与し、国交省のConstructionにも則している。



発行所
日本工業経済新聞社
 水戸支局
 茨城県水戸市笠原町978-25
 茨城県開発公社ビル1階
 電話 029(301)1055
 F A X 029(301)1066

本社 東京都文京区千駄木3-36-11
 URL: www.nikoukei.co.jp

©日本工業経済新聞社

日綜産業のつり足場「クイックデッキ」

首都高1号横羽線・横浜市神奈川区(JXTG(株)構内)では、7月末までの工期でコンクリート剥落防止工事が進められている。そこで活躍しているのが工事用つり足場「クイックデッキ」だ。

日綜産業(株)(東京都中央区、小野大代表取締役社長)が開発・販売している先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」は、2014年6月の発表以来好調で、国内外を問わず数多くの現場で採用さ

れている。対象工事は駅舎改築大庇建築、大型ショッピングモール、航空機組立工場新築の天井工事、精密機械工場の天井改修、新幹線高架の改修工事など多岐にわたっている。

今回の現場は運河にかかっており、高所作業車では行えない起点から直角方向への足場設置も可能としている。作業性の良さ、安全性、施工品質の向上はもちろん、工期短縮にも役立っている。橋下にはテニスコートがあるが、利用に支障なく工事が進められている。

首都高工事でも活躍



首都高1号横羽線でも活躍するクイックデッキ

クイックデッキは国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)TH1500071Aを取得しており、工期短縮、防災防止など生産性向上に寄与し、国交省のi-Constructionにも則している。

【クイックデッキ】首都高工事でも活躍



首都高1号横羽線でも活躍するクイックデッキ

首都高1号横羽線・横浜市神奈川区（JXTG(株)構内）では、7月末までの工期でコンクリート剥落防止工事が進められている。そこで活躍しているのが工事用つり足場「クイックデッキ」だ。日綜産業(株)（小野大代表取締役社長、東京都中央区）が開発・販売している先行床施工式フロア型システム吊り足場「クイックデッキ」は、2014年6月の発表以来好調で、国内外を問わず、数多くの現場で採用されている。対象工事は駅舎改築大庇建築、大型ショッピングモール、航空機組立工場新築の天井工事、精密機械工場の天井改修、新幹線高架の改修工事など多岐にわたっている。

今回の現場は運河にかかっており、高所作業車では出来ない起点から直角方向への足場設置も可能としている。作業性の良さ、安全性、施工品質の向上はもちろん、工期短縮にも役立っている。また橋下にはテニスコートがあるが、そちらの利用にも影響を与えずに工事が進められている。

クイックデッキは、国土交通省新技術情報提供システム（NETIS）TH-150007-Aを取得しており、工期短縮、労災防止など生産性向上に寄与し、国交省のi-Constructionにも則している。

〈2017/04/10配信〉